

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について（速報）

1 調査概要

- (1) 実施日 令和7年4月17日（木）
- (2) 対象 小学校第6学年の児童、中学校第3学年の生徒
- (3) 参加児童・生徒数（国語実施時）
 - 区立小学校 5,938人（61校）【全国(公立)】小学校 936,137人
 - 区立中学校 3,565人（29校）【全国(公立)】中学校 870,560人
- (4) 調査目的
 - ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ② 学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ③ ①②を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (5) 調査内容
 - ① 教科「国語」＝知識・技能等、活用を一体的に問う問題
 - ② 教科「算数・数学」＝知識・技能等、活用を一体的に問う問題
 - ③ 教科「理科」＝知識・技能等、活用を一体的に問う問題
中学校理科は、生徒が活用するタブレット端末等を用いた、文部科学省 CBT システムによるオンライン方式で実施し、IRT（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表示している。
 - ④ 質問紙調査 ＝ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 調査結果（教科ごとの平均正答率）

(1) 小学校

	平均正答率		
	国語	算数	理科
世田谷区	74%	69%	62%
都（公立）	70%	64%	60%
国（公立）	66.8%	58.0%	57.1%

(2) 中学校

	平均正答率		平均IRTスコア
	国語	算数	理科
世田谷区	59%	57%	51.4
都（公立）	57%	53%	50.6
国（公立）	54.3%	48.3%	50.3

3 調査結果の活用について

- (1) 教育委員会は、区全体の状況や質問紙調査との相関関係等について分析してまとめ、校長会や各種研修会などで活用し、各学校が指導方法の改善・充実に生かすよう指導する。
- (2) 各学校は、児童・生徒や自校の課題等を把握し、授業改善の方策や次年度の教育課程の編成に生かす。
- (3) 個々の学校ごとの平均正答数や平均正答率などの数値の公表は行わない。

4 今後のスケジュール（予定）

令和7年12月 文教常任委員会で報告